前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

名 末原工業株式会社 〒 712-8502 倉敷市水島中通一丁目4番地 本票作成 部署名:技術開発部 GTS課 主たる業種 分類 コード 18 業種名:プラスチック製品製造業 (別掲を除く) 事業の 化学繊維製造業 化学繊維製造業				
本票作成 部署名: 技術開発部 GTS課 主たる業種 分類 18 業種名: プラスチック製品製造業 (別掲を除く) 事業の ルヴ緑 無制法業				
主たる業種				
番号 工場等の名称 所 在 地				
① 本社工場	<i>"</i> · · · · –			
県内の ② 里庄工場 浅口郡里庄町浜中133-2				
京内の 一 一 一 一 一 一 一 一 一				
工場等				
特定事業者 🗹 ①燃料等原油換算1,500k0以上 🗌 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 🗌 ③CO₂	換算3,000t以上			
の該当要件 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合)	台)			
温室効果ガス 基準年度(平成 28 年度) (平成 29)年度排出量 目標年度(平成	成 29 年度)			
	, 051 t CO ₂			
番号 工場等の名称 (平成 29)年度排出	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
① 本社工場 10.	10, 617 t CO ₂			
	9, 170 t CO ₂			
主な工場等 の排出量 ③ 賀陽工場 5,	5,020 t CO ₂			
>> I/FILL 至	t CO ₂			
	t CO ₂			
	t CO ₂			
計画期間: 平成 29 年度 ~ 平成 29 年度 (1 箇年度)			
削減日樺の	目標達成			
達成状況	☑未達			
温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原単位当たり排出量				
(原単位基準の削減目標を 基準年度 (29) 年度	目標年度			
選択している				
場合に記入) CO ₂ /() CO ₂ /()	CO ₂ /()			
(該当事業者のみ記入)				
	F度) 達成率等			
指標の状況				
【削減状況の自己評価】 エネルギー使用量および生産量が年々増加しており 削減目標の総排出基準での達成:	が困難な単泡			

エネルギー使用量および生産量が年々増加しており、削減目標の総排出基準での達成が困難な状況です。総排出量基準では平成29年度削減実績は+6.5%で、平成28年度削減実績は+3.8%になります。総排出量が増加した主な要因は、環境改善として空調を増設し電力量が増加したためです。一方で削減目標を原単位基準で試算した場合、平成29年では+0.9%と削減できていませんが平成28年では-2.5%となっています。

エネルギー使用量が増加してますが生産効率の向上効果も確認できることから、削減目標を原単位 基準に見直し効率改善を進める方針です。 【推進体制】

各工場で細かい管理による削減目標を設定しており、会社全体ではエネルギー効率の良い機器への 更新などの投資による省エネを取組んでいる状況です。また毎月1回省エネ会議を実施しており進捗 確認を実施しています。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容				
全社	・生産設備蛍光灯照明を順次LED化				
本社工場	H29年度実施項目 ・生産設備更新による生産量効率改善(1ライン) ・空調電力削減のため、押出機からの熱侵入防止柵の導入(3ライン) ・リサイクル水設備のポンプ逆洗動作の累積タイマー化 ・工場内圧縮空気漏れ箇所修理(年3回の調査と修理)				
里庄工場	H29年度実施項目 ・工場内圧縮空気漏れ箇所修理(年3回の調査と修理)				
賀陽工場	H29年度実施項目 ・省エネヒーターの導入(1ライン) ・工場内圧縮空気漏れ箇所修理(年3回の調査と修理)				
事務所関係	H29年度実施項目 ・食堂照明の蛍光灯30W→LED13Wに交換(70灯) ・老朽化エアコンを省エネタイプに更新				
	今後実施予定分 ・全社で計画書内容を全生産ラインで継続して行う				

【森林保全等吸収源対策への取組】						
県内で の取組	無					
その他	無					
【再生可能エネルギーの導入】						
県内で の取組	無					
その他	無					

その他	無				
【その他	特記事	耳 []			